

第 2 章

2030年までに私たちが実現したいこと

2030年までに実現したい街の姿

歩きたくなる、
巡りたくなることで

「出逢」が広がる街

安全で快適に、楽しく回遊・滞留できる環境をつくり、多様なヒト・コト・情報などに出逢える街を目指します。

人々が行き交い
感性を触発し合うことで

「文化」を創造し続ける街

常に人々が行き交い、交流が広がる状況をつくり、新しい文化やアクティビティが生まれる街を目指します。

ケヤキ並木を誇りに思い
その魅力をさらに広げることで

「価値」を高め合う街

ケヤキ並木の魅力を様々な活動に活かし、エリアの価値をさらに高めつつケヤキ並木の魅力を後世に継承する街を目指します。

2030年までに実現したい街のイメージ図

※これまでの試行と議論をもとに作成した現時点のイメージです。
引き続き検討を重ね作成します。

4つのアップグレード戦略

戦略

1

「グランドレベル戦略」
でメインストリートをアップグレード！

定禅寺通の「みち」と「たてもの」の関係（グランドレベル）を『ひと』を中心に再構築します

戦略

2

「イノベーション戦略」
で施設や場所の力をアップグレード！

エリア内の新陳代謝（イノベーション）を高め
投資機会や経済活動を活発化させます

戦略

4

「ブランディング戦略」
でプロモーション力をアップグレード！

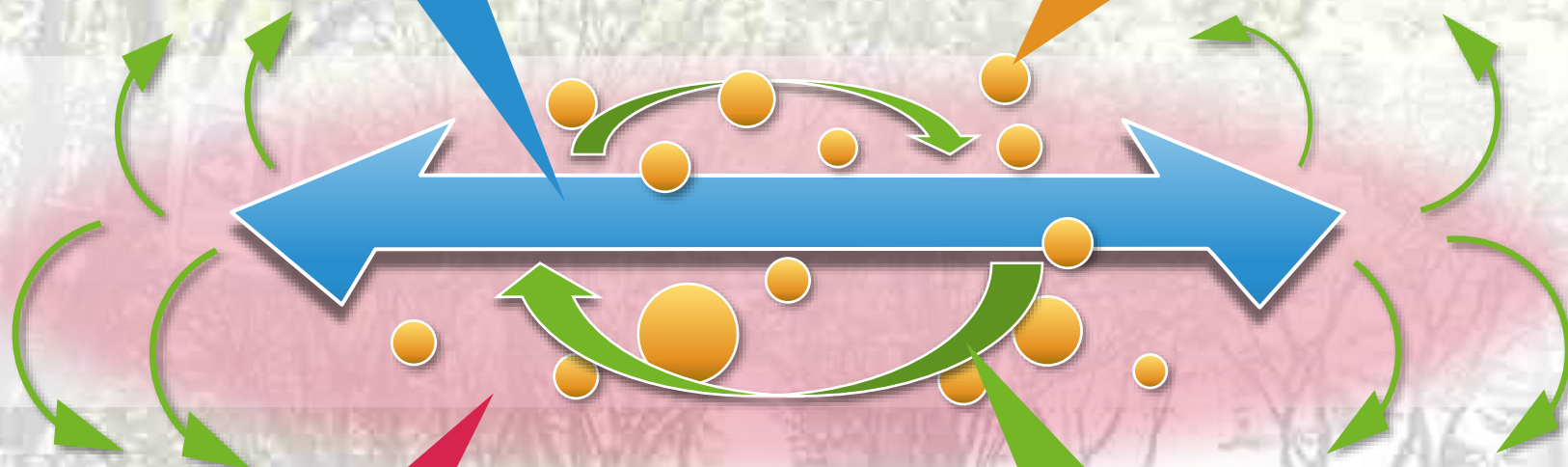
エリア全体のイメージに
磨きをかけて（ブランディング）価値を高めます

戦略

3

「コンベクション戦略」
で回遊性・界隈性をアップグレード！

エリアに対流と滞留を生み出し
「回遊」（コンベクション）を創り出します



戦略やプロジェクトメニューの内容等については、ターゲットや戦略的な展開等を意識しながら、大規模社会実験の検証結果等も踏まえ最終案に向けて引き続き検討していきます。（P9～P12含）

グランドレベル戦略に基づくプロジェクト

アップグレード戦略

1

グランド レベル 戦略

メインストリートを
アップグレード！

定禅寺通の
「みち」と「たても
の」の関係を
『ひと』を中心に
再構築します

PJ.1 街に開かれた沿道環境づくり

- 街に開かれたオープンな店構えを推進する
- お店の雰囲気や明るさが街にしみ出すように、軒先空間の利活用を促進する
- 沿道空間を一体に捉えた定禅寺通にふさわしい店舗を誘致する仕組みをつくる

PJ.2 人中心のみちづくり

- 車線を減らして歩道を広げ、ゆったり歩きやすく、また活用できるパブリックスペースを増やす
- 歩行者・自転車の分離（自転車レーンの確保や「押しチャリ」マナー啓発等）により安全性を向上させる

PJ.3 もっと自由で公園のような定禅寺通づくり

- 座る・くつろぐ・休むなど多様な滞在行動を誘導するイス・ベンチ等を配置する
- 定期的な歩行者天国等を実施し、市民企画イベントを集めて「歩いて楽しい街」を段階的に実現する
- さらに歩行者中心の街としていくために、長期的な視点で、車道や歩道、緑道の幅を検討する

PJ.4 新しいチャレンジを生み出す場づくり

- 歩道や緑道などの公共空間及びセットバック部分や公開空地等の沿道空間を最大限活用し、チャレンジショップ・定期イベント等を同時多発的に開催する
- 「学都」「楽都」にふさわしいタイアップ企画を推進する
- 国分町と連携したナイトタイムエコノミーを推進する

PJ.5 おもてなしの心を磨く

- 誰もが気持ちよく歩けるように、ゴミ出しルールの再検討や世界一美しいゴミ箱つくりを進める

PJ.6 夜の景観づくり

- ケヤキ並木のある街の豊かさをひきたてるために、並木のライトアップなど沿道の夜間景観づくりを官民一体で推進する

「出逢」が
広がる街

「文化」を
創造し
続ける街

「価値」を
高め合う街

イノベーション戦略に基づくプロジェクト

アップグレード戦略

2

イノベーション戦略

施設や場所の力をアップグレード！

エリア内の
新陳代謝を高め
投資機会や
経済活動を
活発化させます

PJ. 1 民有不動産の徹底活用

- 老朽化した民有建物や低未利用地については、リノベーション・暫定利用・建替え・共同利用など様々な手法を駆使して不動産の徹底活用を推進する

PJ. 2 公共施設再編との連携

- 老朽化した公共施設の更新・再編における官民連携事業を模索する
- 市役所本庁舎の建替えについて、庁舎低層部と市民広場の一体的利活用への関与を目指す
- 県民会館移転後の跡地については、定禅寺通の「要」と位置づけ、周辺地権者等と一緒に勉強会を重ね、定禅寺通にふさわしい土地利用・機能導入につながるよう検討を推進し、提言等につなげる

「出逢」が
広がる街

PJ. 3 事業者間のコラボレーションで事業創発

- エリアの事業者をマッチングし、定禅寺通ならではの新しい商品やサービスを創発する

PJ. 4 クリエイティブ人材が集う場づくり

- 若者・起業家のスタートアップやチャレンジを後押しする取組をエリア全体で推進する。例えば、ポップアップショップやチャレンジショップ、低廉な価格での場の提供、コワーキング・シェアスペース等、クリエイティブ人材同士をつなぐ機会を創出する。

「文化」を
創造し
続ける街

PJ. 5 世界に冠たる「環境都市」への取組

- SDGsや脱炭素等の社会動向を先取りして、建物や工作物等の「木質化」や「緑化」、「環境性能向上（LEED、WELLの認証取得推奨）」を推進する
- 民地も含め緑化やグリーンインフラを推進し、緑あふれる街並み「GREENEST CITY」のモデルエリアとなる
- 環境保全や地域資源の循環等を学び・実践するフィールドとして活用する

「価値」を
高め合う街

コンベクション戦略に基づくプロジェクト

アップグレード戦略

3

コンベクション戦略

回遊性・界限性を
アップグレード！

エリアに
対流と滞留を
生み出し
「回遊」を
創り出します

PJ. 1 多様な人々、多様な主体の居場所となること

- 子どもから高齢者まで、個人から家族、友達同士、企業やNPO、市民団体まで、幅広く多様な市民・人々が訪れ、活動し、楽しめる環境をつくる

PJ. 2 定禅寺通へのアクセス性向上

- 地域内外をつなぐ交通結節機能を強化する
- MaaS（モビリティ・アズ・ア・サービス）を推進する
- 定禅寺通に至る公共交通の分かりやすさを向上する（仙台駅前バス停のPRやネーミングライツ、仙台都心部からの案内表示の充実等）
- 定禅寺通エリアの事業者サービス等と連携した事業を展開する

「出逢」が
広がる街

PJ. 3 勾当台公園・西公園の利活用

- 勾当台公園や西公園など、定禅寺通の東西に位置する大規模な都市公園の魅力を向上させ、定禅寺通エリアへの波及効果を高めるため、民間活力の導入等による日常的な管理運営に積極的に係わる

PJ. 4 小さなアクションをいたるところで展開

- 定禅寺通につながる通りや周辺の街区毎に、コンセプトや愛称などを設定し、コインパーキング等の低未利用地を活用したイベント・滞在空間化などを同時多発的に進め、訪れるたびにいろいろな楽しみを体験できるまちづくりを推進する

「文化」を
創造し
続ける街

PJ. 5 身近な緑を増やし、季節を楽しめる街へ

- 裏通りや建物の軒先などでも「小さな緑化」「花飾り」を進め、ケヤキ並木を中心に街のあちこちで四季を楽しめる環境づくりを促進する

PJ. 6 先導的かつ環境にやさしい移動手段の導入

- グリーンスローモビリティなど、人と環境にやさしい公共交通を導入する
- AIや自動運転を活用したオンデマンド交通、キックボードやパーソナルモビリティなど、多様な人々に「快適な近距離移動」を可能にする

「価値」を
高め合う街

ブランディング戦略に基づくプロジェクト

アップグレード戦略

4

ブラン ディング 戦 略

プロモーション力を
アップグレード！

エリア全体の
イメージに
磨きをかけて
価値を高めます

PJ. 1 「定禅寺通エリアの今」を伝える

- HPやSNSを活用したエリア全体の情報プラットフォームをつくる
- 訪れた方が知り合い等に「伝えたい！教えたい！」と強く思うイベントやコンテンツをつくる

「出逢」が
広がる街

PJ. 2 ビジュアルアイデンティティの確立

- エリア全体の統一的なブランディングを進めるために、ロゴやステートメントなどのビジュアルアイデンティティ（V.I.）を定めて展開する

「文化」を
創造し
続ける街

PJ. 3 コミュニケーションツールとしての情報発信

- 定禅寺通エリアの魅力的な人や店舗を発信する情報誌等を発行する

PJ. 4 杜の都を象徴するケヤキ並木を活かしたブランディングの推進

- ケヤキ並木を活かしたブランディングやプロモーションの推進により、都市と緑が豊かに共存する「エコロジー」・「サステイナブル」なエリアとしてのエリアイメージを訴求する

PJ. 5 エリアマネジメント広告の実施

- 歩道上や民間の屋外広告物などを活用して、定禅寺通の景観の向上、賑わい演出に資する広告を販売し、まちづくりの資金とする

「価値」を
高め合う街

PJ. 6 「定禅寺通エリアファン」の獲得

- 何よりも、この「定禅寺通エリアまちづくりビジョン2030」とその間断のないアップグレードへの取組を通じて、私たちの想いを一人でも多くの市民に伝え、定禅寺通エリアのファン（応援者）を増やす